

(様式2)

学校関係者評価報告書

上浮穴高等学校

評価実施日

令和5年2月16日(木)

委員	氏名	所属等	備考
	正岡 健司	(一社)久万高原町観光協会事務局長(学校評議員)	
	板崎 鳴海	久万広域森林組合代表理事組合長(学校評議員)	
	白川 真理	久万こども園園長(学校評議員)	
	中川 茂俊	久万高原町教育委員会事務局長(学校評議員)	
	高山 哲也	久万高原町商工会会長(学校評議員)	
	菊地 孝昌	久万高原町教育委員会学校教育指導員	
	伊藤 孝平	三愛スポーツ代表	
	渡部 定明	久万高原町立病院事務局長	

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

- (1) 地域との交流の充実
- ・農林業以外にも、エッセンシャルワーカー(福祉・医療等)も、サステナブルな社会のために大切なものであるため、ぜひ前面に出し、幼稚園や高齢者福祉施設等でボランティアをしてもらう取組はいかがでしょうか。
 - ・高齢者施設に入所している方々の意見を聞いてもらいたい。
- (2) 学校生活について
- ・学び続けること、道を切り拓く力は社会においても大事なことであるとともに、強い心を持ち続けることも、今の社会環境では必要なことであると思う。将来を見据えた学習ができる環境を常に意識して取り組んでほしい。
- (3) 部活動について
- ・私自身は、上高での部活(野球部)経験が、大きな糧となっています。時代は違うと思いますが、部活動に打ち込める環境を作ってあげてほしいと思います。
- (4) 入試関係
- ・今年度の推薦入試の受検者数が昨年度に比べ増加しているが、受検者はどのような理由で、本校を受検しているのか。
- (5) ICT教育の動きについて
- ・1人1台端末が配布されているが、どのような内容で使われているのか。
- (6) アルバイトについて
- ・昨年度から、上浮穴高校では長期休業中にはアルバイトができるようになったが、社会を知るよい機会であり大変良かったと考えている。ぜひ、今後とも高校生にアルバイトをさせていただきたい。

- ・本校では、家庭科の教科・科目を中心に、保育園やこども園、高齢者福祉施設等と積極的な交流活動が行われており、交流活動により得られるものは多いように感じている。今回の御提案は、文化部の活動とも連動させながら前向きに検討していきたい。
- ・生徒に、「上浮穴高校に入学してよかった。」と思ってもらえるよう、校内でできない部分は、地域の教育力を十分に活かしながら、お互いに連携を取り、生徒の健全育成に努めていきたい。
- ・本校では、部活動の活性化は大きな課題であると感じている。徐々に、運動部で汗を流す雰囲気も失われつつあるようにも感じる。放課後の活用も含め、効果的な形を検討したい。
- ・久万高原町の環境の良さ、総合的な探究の時間(くまたん)の活動、さらには、町営寮(星天寮)の存在が大きいように感じている。今後とも、生徒募集に力を入れていきたい。
- ・例えば、生徒に問題を送り解答、採点、評価、グラフ化など一連の流れが瞬時に行われる。HR活動でも活用されており、教員の労力の省力化や時間短縮にも役立っている。しかし、全教職員のレベルアップが課題でもある。
- ・地域の方々には、久万高原町内での長期のアルバイトは、大変好意的に捉えていただいていると承知している。部活動や進学補習との関係も考慮しながら、対応してまいりたい。